

# 災害時、データ拠点移動

## ゲットワークス コンテナ型設備

IT（情報技術）ベンチャーのゲットワークス（さいたま市）は輸送用コンテナを使ったデータセンター事業を始める。空調設備や電源などを一つにまとめた改造コンテナを販売・リースする。緊急時にはトラックに乗せて輸送できるため、大規模災害時にデータを失うリスクを軽減できる。大規模災害に備えたBCP（事業継続計画）対策の一環として、企業や自治体に売り込む。

重要データをバックアップするための利用を見

込む。データセンタービルの一区画を間借りしてデータを保管する場合、緊急時にデータを移動させるのが難しい。一つのコンテナに設備を集約したことで災害時に素早く避難させることができ、耐震・免震構造を取り入れることでコンテナ内の設備が倒れるなどの事態も防げるといふ。

サーバー自体は購入する企業が基本的に用意する。電源や空調設備などを組み込んだコンテナは1つ2000万円程度という。

全国の自治体が地域振興策としてデータセンター誘致を進めているが、ビルを建設するのが一般的で、費用ももっとかさむという。